

第2期(2023年度) 事業報告



2024年6月

■第2期 事業報告

1.小売電気事業の開始

2024年4月から、市の公共施設を中心に電力供給を開始しました(右記参照)。電源は、地域内の那須塩原クリーンセンターの余剰電力と、那須野ヶ原用水の折戸発電所(2023年11月より買電開始)を調達しており、当社の事業目的の一つである「エネルギーの地産地消」を開始しています。

- ・契約電力2,714kW(2024年3月時点)
- ・販売量1,872,088kWh(2023年4月～2024年3月)

2.エネルギーマネジメント事業(レジリエンス事業)

環境省補助事業「地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業」を活用し、那須塩原市の指定避難所3施設に、太陽光発電設備・蓄電池・LED照明を設置しました。これにより、再生可能エネルギーの活用と災害時のレジリエンス機能を提供していきます。



▲太陽光発電設備(南公民館) 蓄電池(三和住宅にしなすのスポーツプラザ)

▼第2期に電力供給を開始した公共施設

開始時期	施設数	公共施設名	
4月	8施設	那須塩原クリーンセンター 永田保育園 稲村公民館 南公民館	黒磯保健センター 鳥野目第3水源 狩野公民館 ハロープラザ
6月	7施設	本庁舎(東庁舎含む) 鍋掛公民館 西那須野公民館 大山公民館	厚崎公民館 東那須野公民館 西公民館
8月	1施設	三島公民館	

▼対象となる公共施設と導入設備

施設名	導入設備概要
いきいきふれあいセンター	太陽光発電:30.34kW 蓄電池:35.3kWh LED照明
南公民館	太陽光発電:12.3kW 蓄電池:22.1kWh LED照明
三和住宅にしなすのスポーツプラザ	太陽光発電:118.89kW 蓄電池:132.5kWh LED照明

3. 地域貢献事業(環境教育)

那須野ヶ原地区の持続可能な地域づくりに向けた地域貢献事業として、市内の中学校(三島中学校・高林中学校)に、環境学習出前授業を行いました。

▼環境学習実施概要

開催日	開催場所	参加者(人数)
令和5年11月7日	高林中学校	3年生 31名
令和5年11月8日	三島中学校	1年生 246名

4. 脱炭素先行地域事業

脱炭素先行地域に選定されたことを受け、当期は、青木地区の需要家への案内・普及活動と、青木サッカー場の太陽光発電設備の系統連系接続検討を行いました。

■第2期 決算報告

貸借対照表(2024年3月31日現在)

科 目		金 額(千円)
資産の部	流動資産	82,245
	固定資産	197,107
	合計	279,353
負債及び 純資産の部	流動負債	236,072
	固定負債	0
	株主資本	43,280
	資本金	15,000
	利益剰余金	28,280
	合計	279,353

損益計算書(2023年4月1日～2024年3月31日)

科 目	金 額(千円)
売上高	113,165
売上総利益	37,804
販売費及び一般管理費	2,031
営業利益	35,772
経常利益	34,132
当期純利益	27,130

■第3期 取り組み内容

1.小売電気事業(販売計画・調達計画)

2024年4月より、新たに西那須野支所庁舎や小中学校施設など市公共施設36施設に電力供給を開始します。一方、電源調達は、前年に引続き、那須塩原クリーンセンターの余剰電力、那須野ヶ原用水の折戸発電所の水力発電電力(FIT)の調達を行い、不足分はbalancingグループからの電力融通(電力卸市場など)を予定しています。

2.レジリエンス事業

第2期に導入した設備にて、那須塩原市の指定避難所3施設(南公民館、いきいきふれあいセンター、にしなすのスポーツプラザ)に、再生可能エネルギーと災害時における電力利用を可能とするレジリエンス機能のサービス提供を開始します。

3.地域貢献事業

前期に引き続き、那須塩原市の中学校を対象に環境教育授業を実施します。2024年4月より、市内の小中学校への電力供給を開始しているため、子どもたちが自分事として環境問題を理解し、具体的に行動につながる支援を進めていきます。また、地域課題を分析し、将来像を描き、多くの市民と共にその課題解決を推進することで、地域共感を高める事業検討を行います。

3.脱炭素先行地域事業

2022年度に「脱炭素先行地域」の一つとして選定された那須塩原市の共同提案者として、「青木地区ゼロカーボン街区」の構築実現に取り組みます。当社はPPA事業者としての役割を担い、太陽光発電設備と蓄電池の導入を行います。